



地域協働学校運営協議会だより

第10回（2月10日）運営協議会会議の概要です。

■日 時 令和2年2月10日（月）18時30分～20時15分

■場 所 戸塚第三小学校 会議室

■議事

1 代表挨拶

- ・世の中は働き方改革の動きが進んでいる。来年度の会議は先生方の勤務時間内を基本にお願いしたい。
- ・教育現場においては、新型コロナウイルス感染症等で差別などがないように配慮してもらいたい。

2 校長より

- ・全校朝会で思いやりと親切について話した。相手の気持ちを考えた、言葉、行動、タイミング、時には言わなくてよいこともあるということを伝えた。
- ・在校生199名、新1年生保護者説明会38名。来年度の1年生は2学級編成の予定。
- ・インフルエンザは数名が発症しているが、学級閉鎖等の心配はない。
- ・うがいと手洗いの励行、マスクの着用を促している。
- ・今後の予定：2月10日狂言師の方のお話（6年）、2月17日音楽鑑賞教室（4年）、2月27日社会科見学（5年）、3月3日中学校体験（6年）、3月15日吹奏楽団定期演奏会、3月24日修了式、3月25日卒業式
- ・来年度の予定
運動会5月23日、開校95周年記念式典10月3日、学芸会11月13日児童鑑賞日・14日保護者鑑賞日
- ・ホームページより、前回の会議からこれまでの学校の様子を紹介。

3 各支援部の活動について

<安全安心支援部> 今回報告なし

<学習支援部>

- ・戸三小漢字検定2回目があった。子供たちは頑張っていた。
- ・1月28日は寒い中、1年生の生活科「むかしあそび」に、ボランティアで地域の方、児童館の方にお越しいただいた。
- ・2月10日、4年生の総合的な学習の時間に、手話について地域のNPO「舞はんど舞らいふ」の方に講師でお越しいただいた。

- ・2月20日、3年生の総合的な学習の時間に、阿部豆腐店の阿部さんにお越しいただき、豆腐作りをする予定。
- ・5年生の総合的な学習の時間「留学生との交流」は、日程の都合で中止。

<環境支援部>

- ・エココーナー掲示板の活用を継続。
- ・SDGsに関して協議会委員と共通理解を図る場をもち、地域の課題と持続可能性について共に考えていきたい。

4 今年度の学校評価（振り返り）と来年度に向けて

<学習面>

児童9「先生の授業はわかりやすいと思う。」に、95%の児童が肯定的な回答をしている一方、児童5「途中で投げ出さず、ねばり強く学習に取り組んでいる。」に、肯定的な回答をした児童の割合がどの学年でも前期評価よりも下がった。

考察①自学自習できる力を育てる：先生の授業を受けて聞いている分には学習は楽しいが、自分で解決するとなると、課題の困難さなどを感じて意欲が低下することがある。宿題やドリル学習の内容を工夫すること、自問自答の時間の学習への取り寄せ方を改めて指導することなどが今後の手だてとして考えられる。

考察②主体的に取り組む力を育てる：「主体的・対話的で深い学びのできる児童」という新学習指導要領のポイントを生かし、グループでの対話を通して理解する学習のスタイルも多く取り入れている。一人一人が主体的に学びに取り組む力を育てていきたい。

考察③タブレットの有効活用：自らすすんで考え、考えたことを表現する手段としてタブレットの活用は、日頃授業をしていて有効だと感じている。修正が容易で文字の見やすさも関係ないので、児童が自分の考えを発表するのに抵抗が少なくなった。また、自力解決の時間が短縮され、無回答の児童が少なくなった。タブレットについては、児童8「タブレットパソコンなどを使って、『調べる』『まとめる』『伝え合う』授業が好きである。」の結果からも徐々に定着してきていることが分かる。

◆意見交換

委員：学習面については、まず児童の意欲が上がってきたと感じる。タブレットの活用もアップしている。今の時代、答えがすぐに手が入りやすいので、児童5の低下はいたしかたないのではないかと。何でだろう、と自分で気が付き考えることが逆に難しい時代なのでは。

校長：思考力を育てるのが大切な時期になっている。

委員：便利な世の中であるが、保護者側も考えていけないと感じた。

副校長：数学教育では、これまでは問題や計算を解くことに時間を割いていたが、これからはコンピュータが導いた計算結果から何が分かるかを考えることが大切だという流れもある。授業の中で時間をどこに使うか、という時代なのかもしれない。

校長：教育の中にICTがどんどん入ってきて、これからの10年は教育界が大きく変わる。授業の形態もしかり。10年後どのように変わっているか、楽しみであり気がかりでもある。

委員：戸三小は、ICTの活用が進んでいると聞いている。

副校長：区内では使用頻度が高い方である。

教員：ICTを活用し、授業の中で考え方を共有し、最後は自分で考えるようにしていきたい。

委員：分かりやすいことは、逆に身に付かないとも言われる。多少難しいことを自分で考え解決した時に身に付くのではないかと思う。

委員：しかし、そうなる投げ出してしまおうという結果が出ているのではないかと。

校長：教育の動向について、詰め込み→ゆとり→考える→新しいものを生み出す、となってきた。

委員一同：先生方は大変だと思う。

<生活面>

保護者10「子供にいじめやいじめの疑いがあるときには、学校に相談することができる」の肯定的評価は前期評価より上がった。しかし、児童15「いじめなどの問題のある時には、すぐに先生に相談することができる。」は前期評価よりも下がった。

考察：保護者は我が子がいじめられていそうなら学校に相談できるが、子供はいじめられていると思って相談しにくい、または相談しなくてもいい、と感じている児童がいることが分かる。いじめをはじめ、心配なことは先生やカウンセラーに相談してよいことを再度子供たちに伝えていく必要がある。教師はアンテナを高くして子供たちの様子を観察し、常に迅速な対応を意識する必要がある。

◆意見交換

委員：いじめについて、いじめの子はどのように考えているのか。

委員：児童同士のトラブルが気になる。そのような時はどのように指導しているのか。

教員：日頃から人の嫌がることをしない、言わない、などの指導をしているが、事があったときには、相手の気持ちを考えさせたり、謝るだけでは済まない場合もあることを伝えたりしながら指導している。

委員：スクールカウンセラーや養護教諭のかかわりも大切だと思う。家庭環境などが背景として起因していることもあるのではないかと。

副校長：未然防止について各担任から指導しているが、何か問題が起きた時には、管理職はじめ、組織で対応するようにしている。スクールカウンセラーや養護教諭も活用している。

校長：引き続き、嫌な思いをする子がいないように、全体や各学級でも様子を見ながら指導していく。

5 3学期学校公開報告（資料参照）副校長より

委員：模擬選挙は区内の全小学校では行っているのか。

副校長：多数の学校で行われているが、選挙管理委員の方から戸三小の模擬選挙について、全員が党に参加している、社会的な内容を考えているという点で高評価を得ている。低学年から地域にかかわる活動に取り組んでいる成果だと思う。

6 来年度の学校行事日程・時程等について

- ・4月の保護者会資料が正式版になる。
- ・時程を3パターンから2パターンにした。B時程は放課後に教材研究や会議等の時間を確保するため、週に1回程度の予定。

7 その他

- ・令和2年度地域協働学校運営協議会委員について
- ・令和2年度地域協働学校運営協議会の開催回数について、現在年間11回開催しているが、来年度は8月と2月をお休みし10回の開催を予定している。
- ・社会教育指導員より
遅い時間に白熱した議論をありがとうございます。学校によっては、委員の方が学校の様子が分からないので評価がつけにくいと聞く。戸三小では、学校の様子を伝えるホームページやアンケートの取りまとめがあり、分かりやすいと思う。